

| 採取場所 | 福島第一 2号機サブドレン | 福島第一 5号機サブドレン | 福島第一 深井戸 |
|------------------|-------------------------------|------------------|-------------|
| 試料採取日 | 平成24年3月12日 | 平成24年3月12日 | 平成24年3月12日 |
| 検出核種 (半減期) | 試料濃度 (Bq/cm ³) | | |
| I-131 (約8日) | ND | ND | ND |
| Cs-134 (約2年) | 1.8E-01 | ND | ND |
| Cs-137 (約30年) | 2.5E-01 | ND | ND |
| H-3 (約12年) | 1.3E+00 | ND | ND |
| 全 | ND | ND | ND |
| 全 | 8.5E-01 | ND | ND |
| Sr-89 (約51日) | 1.7E-02 | ND | ND |
| Sr-90 (約29年) | 1.2E-01 | 4.3E-04 | ND |

． E ± とは、 ． × 1 0 ± と同じ意味である。

I-131, Cs-134, Cs-137については, 3月13日公表。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は, 「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

I-131が約2E-2Bq/cm³, Cs-134が約2E-2Bq/cm³, Cs-137が約3E-2Bq/cm³,

H-3が約1E-1Bq/cm³, 全 が約4E-3Bq/cm³, 全 が約2E-2Bq/cm³,

Sr-89が約2E-4Bq/cm³, Sr-90が約5E-5Bq/cm³。

ただし, 検出限界値は検出器や試料性状により異なるため, この値以下でも検出される場合もある。

Sr-89, Sr-90の分析は日本分析センターにて実施。

(評価)

H-3, 全 放射能, Sr-89, Sr-90が検出されており, 今回の事故による影響と考えられる。